

小学校4年（第2時） ここちよい人間関係

自分も相手もここちよく 「上手なことわり方」

1 ねらい

相手の気持ちに配慮しながら、うまく断るポイントを身に付け、心地よい人間関係を築く。

2 本時で目指す児童の姿

- (1) 相手を傷つけずに断るために、大切な言い方のポイントを考えている。
- (2) 上手な断り方のポイントをおさえながら考え、誠実に対等に表現している。

3 準備

- (1) 使用するシート
 - ア 「ことわり方」ロールプレイシート【p. 85～86】
 - イ 振り返りシート【p. 230】
- (2) その他
2～4人グループをつくる。（学級の実態に応じて）

4 展開

学習活動	留意点
<p>1 「ここちよい人間関係」について確認する。 【2分間】</p> <p>2 本時のねらいを理解する。【3分間】</p> <p>○断りたいけど断ることができなかつた経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手がすごくやりたそだだと断れないよ。・次から遊んでもらえないかもって思うと、用事があつても約束しちゃったことがあるよ。・嫌なときがあるよね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">どんなことわり方をしたらよいだろう。</div>	<p>○児童の今までの経験を聞き出し、「断る」ことの難しさを共有する。</p> <p>○「断る」ときの言動によってトラブルになることや断り方に悩んでいることをおさえる。</p>
<p>3 どのタイプがうまく断っているのか考える。【7分間】</p> <p>○ワークシートの会話を読み、どのように感じたかグループまたはペアで伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">Aタイプ=もじもじタイプ</div> <ul style="list-style-type: none">・もじもじしていて、考えていることが分からないな。	<p>○言い方によって、嫌な気持ちになることに気付かせる。</p> <p>○A～Cタイプの断り方を比較することによって、上手な断り方にはどんな</p>

<p>Bタイプ=ガミガミタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い方が強くて嫌な気持ちになるな・・・。 <p>Cタイプ=さわやかタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こう言われたら、「うん、分かったよ」って思うよね。 <p>4 どのタイプのどんなところが良いか、グループで話し合う。【8分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○良い断り方だと思ったセリフのどの言葉が良かったのか意見を出し合う。その言葉を一般化し、上手な断り方のポイントとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・あやまる・・・「ごめんね」「わるいんだけど・・・」 ・その理由・・・「今日どうしても〇〇しないといけないから」「まだ1度も使ってないから」 ・代わりの案・・・「貸せないけど、一緒に使うならいいよ。」 	<p>ポイント(要素)があるのか気付くように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれのポイントごと、具体的な言葉の例ができるだけ考えるようにし、板書で可視化する。 ○まずは一人で考え、その後、意見を交流し合う。 ○断る状況としては、さまざまな状況が考えられるが、発達段階を考え、今回は好意をもって誘われたことに対し断る状況に限定する。 ○友達の断り方の良いところを伝え合うように促す。 ○非言語（表情、声のトーン、態度等）に留意させる声掛けをする。 ◇（ねらいにせまったく姿） 良い断り方に必要な3つのポイントを理解し、実践している。
<p>5 事例の断り方を考える。【20分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上手な断り方を、2つの事例について考え、ワークシートに記入する。 ①いつも外で遊んでいたが、今日は図書室で本を借りたいと思った。 ②係決めのとき、仲のいい友達に「同じ予定係にしよう。」と言われたが、配達係になりたいと思っていた。 ○「相手」「あなた」役を順番に行いながらロールプレイ形式でグループで自分の考えを伝え合う。 ○全体で発表する。 <p>6 振り返りをする。【5分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う案を提案するのは難しいけど、必要だ。 ・最初にきちんと謝るのが大事だと思った。 ○振り返りシートに今の気持ちを書く。 ・上手な断り方にはポイントがあった。考えて答えれば、相手の気分を悪くしてしまうことが少なくなると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の振り返りをもとに、日頃から取り組んでいくことを意識させるようにする。

年 組 番 名前

■自由参加でだれでもエントリーでき、昼休みに行われる短縄跳び大会に「いっしょに参加しよう」と言われたが。



【Aタイプ】

タイプ

相手: 今度の短縄跳び大会にいっしょに参加しない?

あなた: えっと…どうしようかな…。

相手: ためしてみようよ。

あなた: うーん…、そうだね…。どうしよう…。

相手: どうするの? もう、なやんでいるなら名前を2人分書くからね!

【Bタイプ】

タイプ

相手: 今度の短縄跳び大会にいっしょに参加しない?

あなた: 絶対嫌だよ。めんどうだし。

相手: えー、そんな言い方しなくていいのに…。

【Cタイプ】

タイプ

相手: 今度の短縄跳び大会にいっしょに参加しない?

あなた: ごめん、参加したいけど、全然練習していないから自信なくて。また、次は参加したいと思う。さそってくれてありがとう。今回はごめんね。

相手: そっかー、今回は残念だけど、次はいっしょに出ようね。

年 組 番 名前 _____

【例 1】

いつも外で遊んでいたけど、今日は図書室で本を借りたい。いつものように、友達が外へ行こうとさそってきた。

【上手なことわり方】

【例 2】

係決めのとき、なかのよい友達に「同じ予定係になろう。」とさせられたが、配達係になりたいと思っていた。

【上手なことわり方】



振り返りシート 【プログラム：】

年 組 番 名前 _____

1 自分のこととして取り組みましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

2 自分や友達の考えを大切にしましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

3 この授業で大切にしたいことやこれからの生活に役立てたいことなどを書いてください。